

雪氷写真館③ 鳥海山の心字雪に発生した氷脈



写真1. 心字雪を横断する氷脈(矢印). 全長約70mで等高線に沿って走っている.



写真2. 氷脈の近景. 凸状の頂上付近に氷板がほぼ鉛直に走っている. 左が下流(南)側になる. 氷脈の頂上と窪みとの高度差は最大約45cmあった.

鳥海山の心字雪に発生した氷脈

鳥海山には大股、心字雪、貝形などの万年雪が存在する。毎年秋にこれらを調査していると時々珍しいものに出会う。ここに紹介するのは、2002年9月26日、南斜面にある心字雪の表面に見られた氷脈である。氷脈は心字雪の一番厚い部分(土屋, 2001)に発生していたが、前年のクレバスと関係があるらしい。ほぼ鉛直の鋸歯状の氷板が岩脈のように露出し、その上流(北)側の窪みには日射で融けた水がたまっていた。毎年発生するわけではないが、少し低いものが1993年10月9日に観察された記録がある(土屋, 1999)。

参考文献

土屋 巖, 1999: 日本の万年雪. 古今書院, 東京, P. 37.

土屋 巖, 2001: 鳥海山心字雪で観察された近年の雪氷現象. 雪氷, 63, 319-329.

土屋 巖 会員(元香川大学, 山形市荒楯町在住)

計測
記録
セン
専用
電
記

内蔵
記録
計測
精度
分厚
耐久
専用
計測
寸法
チェ